

令和2年12月1日

ライオンズクラブ国際協会335複合地区

献血・視聴覚委員長

伊井田 栄治 様

いつも大変お世話になっております。

先日お問合せのありました近畿2府4県の献血状況ですが、在宅勤務やオンライン授業、新型コロナウイルス感染対策等の影響で企業献血の中止や高校・大学等の学校献血実施が減少しており、前年度と比較して学校献血では約7割、全体では約3割がキャンセルとなり、献血者の確保に苦慮している中ではございます。対策として移動採血の街頭会場への増車実施や受付時間の延長を行い、献血血液の確保に努めております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染の第3波が発生している中、今後は更に献血者の確保に苦慮する恐れがあります。特に、例年移動採血車を配車している企業献血が辞退や延期が発生しており、街頭会場への配車が増える状況にあり、今回の第3波による人出に減少など献血者確保にマイナスとなる要素が増えております。

年末年始についても、初詣や初売りなど多くの人出が見込まれるイベントに対しても例年通りの開催が危ぶまれる状況にあります。

今後の見通しとして、特に年明けから献血血液の確保が厳しくなるとみております。

そこで、ライオンズクラブメンバーの皆様をお願いしたい点がございます。

- 1.可能であれば年明けから春先にかけて、各ライオンズクラブ様にて追加のアクティビティを実施いただき、献血者の確保につなげていただきたいと思います。
- 2.ライオンズクラブメンバー様の企業において、献血バスの受入が出来ましたらお受けいただきたいと思います。

上記2点について、ご対応が可能でしたら恐れ入りますが各府県赤十字血液センターまでご一報ください。どうぞよろしく願いいたします。

日本赤十字社

近畿ブロック血液センター

事業副部長 森本 実